

第9回

防災・減災講演会

地震、豪雨による道路被害から学ぶ

共催：山口大学地域レジリエンス研究センター防災・減災グループ
山口大学グローバル環境・防災学研究会

2023年

参加費：無料 定員：500名

10月3日 火 13:30～16:50

Zoomによるオンライン開催（接続可能13:20～）

第1部 13:35～15:05

「地震時の道路盛土の被害」

講師

安田 進 氏

東京電機大学 名誉教授
東京電機大学総合研究所 客員教授



第2部 15:15～16:45

「高速道路における最近の のり面災害と対策の動向」

講師

横田 聖哉 氏

東日本高速道路株式会社
技術本部 シニアエキスパート



お申し込み方法

本講演会はZoomウェビナーを利用します。山口大学地域レジリエンス研究センター防災・減災グループのホームページより **2023年10月1日（日）までに事前申込** をお願いいたします。



土木学会認定CPD 3単位

【お問い合わせ・お申込み】

山口大学 地域レジリエンス研究センター 防災・減災グループ

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

TEL:0836-85-9348

E-mail: cldpm@yamaguchi-u.ac.jp（担当：山本）

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cldpm/index.html>



講演概要

安田 進 氏

「地震時の道路盛土の被害」

我が国では大地震のたびに道路が被害を受けてきているが、その被害形態やメカニズムは様々である。ここでは高速道路の盛土において過去の地震時に被災した3つの事例をとりあげ、メカニズムや復旧方法、それを契機に行われてきた耐震点検について述べる。さらに、液状化による住宅地の平面道路の被害事例も紹介する。

横田 聖哉 氏

「高速道路における最近ののり面災害と対策の動向」

高速道路における土工延長は、路線全体の約7割を占めるが、毎年のように降雨災害や地震災害が発生している。本講演では、高速道路において最近発生した法面災害について、その概要を紹介すると共に発生原因や復旧方法について述べる。また、最近の防災・減災対策の動向についても紹介する。

講師紹介

安田 進 氏 (東京電機大学 名誉教授、東京電機大学総合研究所 客員教授)

広島市出身。1975年東京大学大学院博士課程修了。基礎地盤コンサルタンツ(株)、九州工業大学助教授を経て1994年から東京電機大学理工学部教授。2016年から同大学副学長。2018年定年後東京電機大学名誉教授。専門分野は地盤工学と地震工学。学会活動としては日本地震工学会会長などを務めてきている。受賞では数々の学会論文賞、国土交通大臣賞、内閣総理大臣表彰などを受けてきている。

横田 聖哉 氏 (東日本高速道路株式会社 技術本部 シニアエキスパート)

博士(工学)。専門は土構造物、地盤工学。

北海道室蘭市出身。日本道路公団および東日本高速道路(株)にて高速道路の建設・管理事業に従事。また、(株)高速道路総合技術研究所において、土工構造物の研究開発や設計要領等の基準作成に関わると共に、地震や降雨災害時の現場支援に取り組む。2022年から現職。